



# 足立区議会だより

発行/足立区議会 ☎03(3880)5996(直通)  
http://www.gikai-adachi.jp No.265

第3回  
定例会  
再生紙を使用しています



第15回足立凧まつり  
(平成26年10月4日 荒川河川敷・虹の広場にて)  
足立区議会写真部 前野 和男 撮影

## 区長提出議案

### 平成25年度足立区一般会計歳入歳出決算を認定

## 議員提出議案

### 地方税財源の拡充に関する意見書

### 危険ドラッグの根絶に向けた

### 総合的な対策の強化を求める意見書

### を可決

## 平成26年第3回 定例会のあらまし

第3回定例会は、9月22日から10月24日までの33日間で開会しました。

本会議初日の区長あいさつの後、各会派の代表議員、無党派の議員が、3日間にわたり区政全般について質問を行いました。

今定例会では、平成25年度足立区一般会計等、4会計決算を決算特別委員会で審査し、それぞれ原案のとおり認定しました。

## 主な内容

- 2面 ● 区政を問う (各会派代表・一般質問)
- 5面 ● 議決結果
- 6面 ● みなさんからの陳情
  - 意見の分かれた案件
  - 委員会活動
- 7面 ● 決算特別委員会の討論 (要旨)
- 8面 ● 平成25年度各会計決算
  - 決算特別委員会での審査
- 区議会からのお知らせ
- 議席図
- 区議会ダイヤル

## 寄附行為の禁止

議員(候補者等を含む)が選挙区内にある者に対し、お歳暮・お年賀等の贈り物をするのは、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています。また、受け取った人も罰せられます。年賀状(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことも禁止されています。区民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

## 第4回定例会のお知らせ

次回、第4回定例会は12月2日から22日に開かれます。12月2日、3日、4日、22日の本会議はJ:COM足立(J:COMチャンネル足立11ch)で生放送の予定です。※会期は変更される場合があります。

# 問

代表・一般質問を平成26年9月22日、24日、25日に開会した第3回定例会本会議で行いました。

## 代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各会派を代表する議員と無党派の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。以下その一部を掲載します。

## 足立区議会自由民主党

### 区民要望に応えられるエリ

### アデザインの早期実現を!

自由民主党 鹿浜 昭 議員



#### 平成25年度決算状況を問う

【問】平成25年度は、アベノミクス等の効果を背景に、若干だが、長く続いた不況の時代から回復基調に転換した年となった。本区の財政運営について区長はどのように評価しているのか。

【区長】4年連続で上昇した経常収支比率が81%と5.5ポイント減少し、23区平均を下回ったことは、25年度決算の一つの象徴と考える。これは、景気変動要因が大きいが、これまでの人件費や公債費を極力圧縮する自助努力のひとつの成果でもある。

また、基金残高を一定基準に保ちつつも、区債を計画的に償還してきた結果として、就任当初約1千億円あった残高を580億円余までに圧縮できた点も一つのポイントである。

#### 慎重・適切な外部委託の対応を

【問】戸籍業務の外部化で発生した問題を決して繰り返してはならない。根本的な原因をどのように分析しているのか。

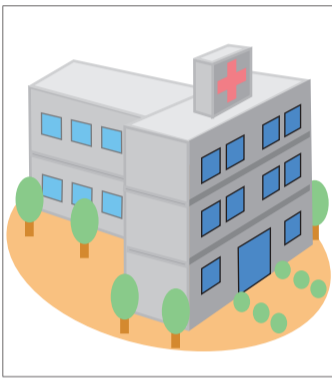
【区民】業務の可視化と分析が不十分だったため、受託事業者へのノウハウを移転しきれず、業務手順や判断基準のマニュアルに不備が生じたことにある。

もう一点は委託業務範囲の設定が適切でなかったため、本来公務員が行うべき「公権力の行使」に係る業務や、区職員に確

認しなければ遂行できない業務が含まれてしまったことにある。エリアデザインで夢のある街づくりを

【問】花畑エリア及び江北エリアの広大な用地を一体的に活用・整備する施設が重要で、大学等の教育施設、大病院等の総合病院、総合スポーツ施設等を積極的に誘致していくことが必要と考える。現在までの取り組み状況及び今後の予定を伺う。

【問】花畑エリア及び江北エリアの広大な用地を一体的に活用・整備する施設が重要で、大学等の教育施設、大病院等の総合病院、総合スポーツ施設等を積極的に誘致していくことが必要と考える。現在までの取り組み状況及び今後の予定を伺う。



#### 【政策経営】花畑エリアでは、

地元まちづくり協議会からの誘致要望がある大学等の教育機関を、有効なものの一つとして認識している。今後は事業者へのさらなるヒアリングを進め実現可能性を探るとともに、平成27年1月の完成を目指し、エリアデザイン策定に取り組んでいく。

また、江北エリアでは、まちの課題等の洗い出しを行う予定であり、広大な用地を一体的に活用する施設誘致を進めていく。大病院等を誘致する取り組みは、エリアデザイン推進本部

で現状を把握しながら、手法を含め実現の可能性を探っている。

#### 一人でも多くの声を国へ

【問】本年度は団体規制法の見直しと同時に、アレフ(オウム真理教)の観察処分更新年度にあたる。何としても公安調査庁に住民の意思を届ける必要がある。多くの署名を集めなければならぬ。3年前は25万筆を超えたが、今回の見直しはどうか。

【危機管理】9月21日までに13万筆を超える署名が寄せられている。この後の提出分を合わせると前回を上回ると見込む。

#### 孤立ゼロプロジェクト実態調査目標達成は可能か

【問】平成26年8月現在、区内436町会・自治会のうち、取り組んでいるのは全体の約1/3である。役員の高齢化問題等もあると思うが、残り1年半で全町会・自治会での実施は可能か。

【地域】地域ではプロジェクトを前向きに捉えていると感じており、現時点では可能と考える。住みなれた地域での生活を続けるために

【問】本年6月に医療・介護総合推進法が成立した。この改革では、給付対象者の厳格化等、今後の受給バランスを考えるとやむを得ないと思う反面、特別養護老人ホームへの入所要件のさらなる厳格化等、残された課題もあると思うがどうか。

【福祉】在宅医療における介護保険の関わり方等、不透明感のある事項も多数残されている。いずれも、区の裁量の大きな分野であり、検討を深め、地域で高齢者が安心して住み続けられるよう着実に成果をあげていく。

#### 健康な歯で糖尿病を予防

【問】区民の健康寿命は都の平均より2歳低く、その最大の障害要因が糖尿病と言われている。今般「足立区糖尿病対策アクションプラン 歯科口腔保健対策編」を策定した狙いを伺う。



【衛生】近年の研究で糖尿病と歯の健康には相互関係があることがわかっており、歯の健康を高めることは同時に、糖尿病予防に効果的と考えられている。しかし、区では子どものむし歯や若い世代に歯周病が多い等の課題が明らかになったため策定した。教育制度改革で権限が強化される区長の教育行政への姿勢は

【問】区長は、教育長の直接任命・罷免が可能になるとともに、総合教育会議を主催し、地域の実情に応じた大綱を策定することが定められた。今後の教育行政に臨む区長のビジョンを伺う。

【区長】就任以来、一貫してすべての足立の子どもたちに「たくましく生き抜く力」を身につけることを教育行政の最大目標として取り組んできた。成果は現れてきたが、教育の達成目標には道半ばと考える。今後、今まで培ってきた取り組みと成果を着実に今後につなげる組織体制の構築も含めて、これまでと同じ思いのもと課題解決に全力で取り組んでいきたいと考える。

#### 子どもの貧困に積極的な対策を

【問】区教委として、子どもの貧困対策で新たな施策を進めていく考えはあるのか。区長部局との連携等、具体的にどのように考えているのか。

【教育長】学校を拠点に、貧困等、様々な課題を抱えた子ども等の状況を把握し、福祉施策につなげていくスクールソーシャルワーカー導入を検討している。区長部局とは「子どもの貧困対策本部」等を通じ、各所管との連携等を図りながら、総合的な視点から対策を進めていく。

#### 社会保障制度の堅持と

#### 少子高齢社会への対応

自由民主党 白石正輝 議員



【問】①国民健康保険料を適正に設定すべきと思うがどうか。②上昇する介護給付を考慮した介護保険料とするため、値上げは避けられないと思うがどうか。③働けるのに働かない不当な生活保護受給者に対し、就労指導と保護打ち切りを視野に入れた法律改正が必要ではないか。

【区民】①今後とも所得に応じた公平な負担を求めるとともに、医療費の適正化の取り組みを進め、適正に設定していく。【福祉】②今後、介護保険制度の維持に適した保険料となるよう地域保健福祉推進協議会で議論いただきたいと考える。【足立福祉】③今年5月、厚生労働大臣に「就労指導に従わない生活保護受給者には、期限を定めた適用を可能にすること」

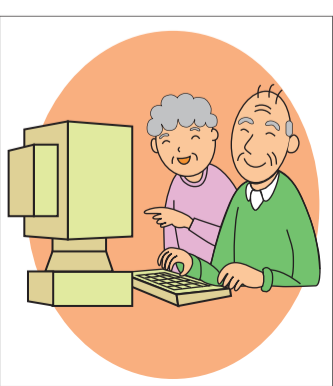
#### 増加する待機児童解消に向けて

【問】今年4月の待機児童数は昨年と比較し36名増の330名となつてしまった。この数字をどのように捉え、施設整備の面でどのように取り組むのか。

【子ども】「保育定員を38名増やしたが、保育所申込者の増加等により、間に合わなかった。今回改定した待機児童解消アクションプランでは、平成26・27年度に定員90名増とし、解消に取り組む。また、施設整備に遅延が生じないようにスケジュール管理をしていく。

【問】①待機児童ゼロに向けて、区有地を活用した保育園増設を考えてはどうか。②65歳までの定年延長を率先して地方自治体が行うのはどうか。③高齢者の定義を75歳以上に引き上げるべきと思うがどうか。

【子ども】①施設整備に適した区有地を積極的に活用していく。



【子ども】①施設整備に適した区有地を積極的に活用していく。

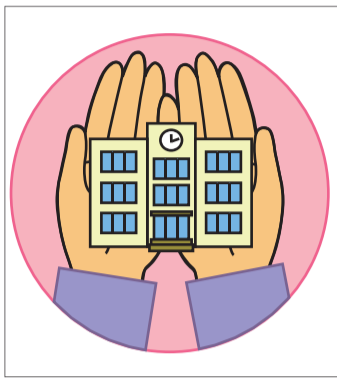
#### 用語解説

\*スクールソーシャルワーカー：不登校・非行等の問題を抱えている児童・生徒について、置かれている環境等を考慮しながら、関係機関と連携して、問題を解決していく福祉の専門家

# 代表・一般質問

本会議の録画中継を  
区議会ホームページでご覧いただけます  
<http://www.gikai-adachi.jp>

# 区政を



また、新宿区のコーディネーターは、青少年委員から出発したと聞くので、青少年委員会の担当所管とも協議していく。


【学校教育】このような先進的な取り組みを、今後も十分に参考にし、開かれた学校づくり協議会を土台に置いた当区の学校支援活動、あるいはコミュニティ・スクールの展開に活かしていきたいと考える。

【問】杉並区では、各学校に学校支援本部を設置し、地域コーディネーターが学校に代わり、地域ボランティアとの日程調整等を担っている。こうした支援が学校外の活動等にも及び、地域全体の教育力の向上や学校を核とした地域形成につながっている。新宿区にも、同趣旨のスクール・コーディネーターがある。足立区もこのような制度を導入する等、さらなる支援を行うっていくべきと考えるがどうか。

地域の協力をさらに深める学校支援体制を考へては

**子どもたちの未来を考えた足立づくり**

自由民主党 金田 正 議員



【総務】②今後23区共通課題として検討していく。

【福祉】③高齢者の定義を区は変えられないが、元気高齢者に、新しい総合事業の担い手として活躍いただく場を検討していく。

【問】都営江北四丁目アパート建替えて創出される土地の有効活用として、基幹病院の誘致は

また、バス路線網は、地区まちづくり計画と総合交通計画との整合を図りつつ、路線バスの経路変更等も視野に入れ、事業者と協議・検討している。

【政策経営】教育機関の誘致は、区全体の活性化に繋げる施設の1つと認識しており、実現可能性を探っていく。

また、谷塚や竹ノ塚、六町等の各駅を結ぶバス路線網の整備を推進すべきだがどうか。

【問】花畑団地周辺地区まちづくり協議会からは、地域の活性化のため、教育機関等を要望する声が多くある。区としても積極的に誘導すべきと思うがどうか。

【政策経営】効率的で質の高い医療体制の構築や周産期医療機能の充実等、多くの要望を頂いていることは充分理解している。重要である。大病院等をエリアデザインの中で検討し、積極的に誘致すべきだがどうか。

【問】花畑団地周辺地区まちづくり協議会からは、地域の活性化のため、教育機関等を要望する声が多くある。区としても積極的に誘導すべきと思うがどうか。

【問】都認定のオリンピック教

【問】都認定のオリンピック教

【問】都認定のオリンピック教

【問】都営江北四丁目アパート建替えて創出される土地の有効活用として、基幹病院の誘致は

また、バス路線網は、地区まちづくり計画と総合交通計画との整合を図りつつ、路線バスの経路変更等も視野に入れ、事業者と協議・検討している。

【政策経営】教育機関の誘致は、区全体の活性化に繋げる施設の1つと認識しており、実現可能性を探っていく。

また、谷塚や竹ノ塚、六町等の各駅を結ぶバス路線網の整備を推進すべきだがどうか。

【問】花畑団地周辺地区まちづくり協議会からは、地域の活性化のため、教育機関等を要望する声が多くある。区としても積極的に誘導すべきと思うがどうか。

【政策経営】効率的で質の高い医療体制の構築や周産期医療機能の充実等、多くの要望を頂いていることは充分理解している。重要である。大病院等をエリアデザインの中で検討し、積極的に誘致すべきだがどうか。

【問】花畑団地周辺地区まちづくり協議会からは、地域の活性化のため、教育機関等を要望する声が多くある。区としても積極的に誘導すべきと思うがどうか。

【問】都認定のオリンピック教

【問】都認定のオリンピック教

【問】都認定のオリンピック教

【問】都営江北四丁目アパート建替えて創出される土地の有効活用として、基幹病院の誘致は

また、バス路線網は、地区まちづくり計画と総合交通計画との整合を図りつつ、路線バスの経路変更等も視野に入れ、事業者と協議・検討している。

【政策経営】教育機関の誘致は、区全体の活性化に繋げる施設の1つと認識しており、実現可能性を探っていく。

また、谷塚や竹ノ塚、六町等の各駅を結ぶバス路線網の整備を推進すべきだがどうか。

【問】花畑団地周辺地区まちづくり協議会からは、地域の活性化のため、教育機関等を要望する声が多くある。区としても積極的に誘導すべきと思うがどうか。

【政策経営】効率的で質の高い医療体制の構築や周産期医療機能の充実等、多くの要望を頂いていることは充分理解している。重要である。大病院等をエリアデザインの中で検討し、積極的に誘致すべきだがどうか。

【問】花畑団地周辺地区まちづくり協議会からは、地域の活性化のため、教育機関等を要望する声が多くある。区としても積極的に誘導すべきと思うがどうか。

【問】都認定のオリンピック教

【問】都認定のオリンピック教

【問】都認定のオリンピック教

【問】都営江北四丁目アパート建替えて創出される土地の有効活用として、基幹病院の誘致は

また、バス路線網は、地区まちづくり計画と総合交通計画との整合を図りつつ、路線バスの経路変更等も視野に入れ、事業者と協議・検討している。

【政策経営】教育機関の誘致は、区全体の活性化に繋げる施設の1つと認識しており、実現可能性を探っていく。

また、谷塚や竹ノ塚、六町等の各駅を結ぶバス路線網の整備を推進すべきだがどうか。

【問】花畑団地周辺地区まちづくり協議会からは、地域の活性化のため、教育機関等を要望する声が多くある。区としても積極的に誘導すべきと思うがどうか。

【政策経営】効率的で質の高い医療体制の構築や周産期医療機能の充実等、多くの要望を頂いていることは充分理解している。重要である。大病院等をエリアデザインの中で検討し、積極的に誘致すべきだがどうか。

【問】花畑団地周辺地区まちづくり協議会からは、地域の活性化のため、教育機関等を要望する声が多くある。区としても積極的に誘導すべきと思うがどうか。

【問】都認定のオリンピック教

【問】都認定のオリンピック教

【問】都認定のオリンピック教

【問】都営江北四丁目アパート建替えて創出される土地の有効活用として、基幹病院の誘致は

また、バス路線網は、地区まちづくり計画と総合交通計画との整合を図りつつ、路線バスの経路変更等も視野に入れ、事業者と協議・検討している。

【政策経営】教育機関の誘致は、区全体の活性化に繋げる施設の1つと認識しており、実現可能性を探っていく。

また、谷塚や竹ノ塚、六町等の各駅を結ぶバス路線網の整備を推進すべきだがどうか。

【問】花畑団地周辺地区まちづくり協議会からは、地域の活性化のため、教育機関等を要望する声が多くある。区としても積極的に誘導すべきと思うがどうか。

【政策経営】効率的で質の高い医療体制の構築や周産期医療機能の充実等、多くの要望を頂いていることは充分理解している。重要である。大病院等をエリアデザインの中で検討し、積極的に誘致すべきだがどうか。

【問】花畑団地周辺地区まちづくり協議会からは、地域の活性化のため、教育機関等を要望する声が多くある。区としても積極的に誘導すべきと思うがどうか。

【問】都認定のオリンピック教

【問】都認定のオリンピック教

【問】都認定のオリンピック教

②タッチパネルの有効性の確認を含め導入を検討していく。  
 ③早期に受診を勧める必要があると考えるが、拒否する場合は多い。その場合は、地域包括支援センターの継続した関与とともに各種予防教室へ参加を促す等、働きかけを継続していく。  
**高齢者が地域貢献できる仕組み**  
**【問】**①団塊世代地域回帰事業の講座修了者の、その後の活動状況はどうか。  
 ②あだち皆援隊講座の成果と課題はどうか。

## 産前産後の切れ目のない子育て支援について

公明党 きじま てるい 議員



**母子健康手帳の交付は、母子保健へのスタート**  
**【問】**母子健康手帳の交付は、地域の妊婦を把握し各種支援サービスにつなぐきつかけとなるため、その対応は重要である。しかし、区民事務所での交付は、専門職による面談がなく、アンケートも任意である。本来なら全数面談が望ましいが、工夫ができないか。

妊娠届出書

母子健康手帳

**【衛生】**手帳の6割が区民事務所

問題は何か。修了者が地域等で活動できる受け皿作りが必要と思考がどうか。  
**【地域】**①地域課題に積極的に取り組み活動を展開している。②受講者のうち15人が絆のあなしん協力員として登録している。課題として、地域活動の受け皿の拡大と受講後すぐに活動が始められる人材の育成と考える。今後、受け皿のメニューの整備や、講座内容の見直しを行っていく。

所で交付されている現状では、保健師の面談は困難である。このため、担当課へ妊娠届出書と

## 日本共産党足立区議団

### 税金・プライバシー犠牲、法令違反の外部委託撤回を

日本共産党 ぬかが 和子 議員



**区民の声を国に届けるべきだ**  
**【問】**政府は増税の判断を年内に行うとしているが、圧倒的多数の区民が中止を求めている。区民生活と地域経済を守る立場に立ち、増税反対の意思を表明するのは当然だがどうか。  
**【政策経営】**社会保障や子育て支援の安定的な持続に消費税は必要な財源であり、現時点で反対の意思を表明する考えはない。  
**【問】**①家具転倒防止の啓発強

アンケートを送付することとし、課題が認められた方には、保健師へ早期対応を指示している。また、後日、本人が希望する場合は保健師による訪問等が行えるよう、さらにアンケート内容を工夫する等、必要な支援につなげていけるよう努めていく。  
**子育て応援メールを配信しよう**  
**【問】**核家族化により、孤かな育児環境の中で不安を抱える母親にとって、聞きたい・知りたいと思うタイムリーな情報は願ってもない。予防接種ナビのメールを活用し、さらに充実した情報を配信すべきだがどうか。  
**【衛生】**予防接種ナビは、妊娠前から時期に応じた情報メールを配信可能なシステムとなっている。今後、妊娠、出産、育児の不安軽減に繋げる子育て応援メール配信に向け検討していく。

化と補助拡充、家具のガラス飛散防止支援を行う考えはないか。  
 ②防災マップを改善し、「自分の街」がわかる地域版マップの作成を支援すべきではないか。  
**【建築】**①助成対象者の範囲を拡充する予定はない。ガラス飛散防止支援は今後検討していく。なお、地区別説明会や個別相談会等で積極的に家具転倒防止の重要性を周知していく。  
**【危機管理】**②地区防災計画策定に合わせ、住民による地域版



防災マップ作成を支援していく。  
**戸籍業務の外部委託は中止せよ**  
**【問】**戸籍窓口業務外部委託は、東京労働局が偽装請負と断定。①今後、是正指導に基づき事実上の部分委託に変更されるが、委託し続ける二次入力の移記は区職員の関与が欠かせないものであり、是正すべきだがどうか。  
 ②現在も違法状態ではないか。  
 ③区民に多大な迷惑をかけた委託前より費用がかかった責任をどう取るのか。区職員10名を窓口に戻す、その人件費分も含めて契約変更が必要だがどうか。  
 ④戸籍業務が未解決の中、区は外部化に突き進むと宣言している。他の外部委託のあり方も抜本的に見直すべきだがどうか。

**【区民】**①移記は委託可能との確認を国から得ており、是正の必要はないと考える。  
 ②労働者派遣法において、違法状態と認識している。  
 ③人件費の減より委託金額が上回ったことをお詫び申し上げる。今後、経費削減とサービス向上を目指し責任を果たしていきたいと考える。増員する区職員の人件費に相当する委託金額変更は、受託事業者と協議していく。  
**【政策経営】**④戸籍業務委託への指摘・是正指導を真摯に受け止めて、今後適正な委託の形態にして進めていきたい。

## 子どものすこやかな育ちと踏切対策について

日本共産党 浅子 けい子 議員



**子ども・子育て支援新制度では保育の質の確保を**  
**【問】**すべての施設等で現行保育所基準以上の条件を保障し、保育者を有資格者にすべきだがどうか。

また、認可保育所が4階に保育室を設置する場合に屋外避難階段等の設置規制がなくなる等、安全や災害時の避難を考えれば認められないがどうか。  
 さらに、区が支援して園庭設置を義務付けるべきだがどうか。  
**【子ども】**現行の区小規模保育室の保育士割合6割を最低基準

一人ひとりの区民に合ったサービスの提供に努めていく。  
 特養ホームは、今後も待機者の実態や高齢者の伸び率等を勘案しつつ、ゆるやかな増設していく必要があると考える。  
**環境対策の先進自治体を目指せ**  
**【問】**下町人情や平地の多さ等、足立の特性を活かし、環境モデル都市を目指すべきだがどうか。  
**【環境】**地域特性を活かした環境都市のイメージの具体化を考えており、手法の一つとして認定の可能性を追求していく。

また、認可保育所が4階に保育室を設置する場合には屋外避難階段等の設置規制がなくなる等、安全や災害時の避難を考えれば認められないがどうか。  
 さらに、区が支援して園庭設置を義務付けるべきだがどうか。  
**【子ども】**現行の区小規模保育室の保育士割合6割を最低基準

## 足立区議会民主党

### 声なき声を区政に

民主党 長谷川 たかこ 議員



**発達障がい特性がある当事者とその家族に対する支援策を問う**  
**【問】**①区として、保育園・幼稚園の職員、小・中学校の関係者に対し、障がい特性に関する理解と普及啓発活動、成長段階に合わせた適切な支援、特に、その特性が見え隠れしている当事者に対するバックアップ体制を強力に進めるよう求めるがどうか。  
 ②専門家指導の下、親の会等の協力を得て、ペアレントメンタ

また、ペアレントメンターのスキルのある支援者による、ピアカウンセリング活動が行える仕組みを構築してはどうか。  
**【子ども】**①区教委として、今後も特別支援教育コーディネーター研修を実施し、教員が障がいのある児童・生徒を支援するために必要な基礎的知識及び実践的対応力を身に付けさせるとともに、特別支援教育コーディネーターが中心となり、校内に

また、新制度の小規模保育事業では認可保育所に準じた設備基準が設けられており、保育の安全性は確保できると考える。  
 園庭を確保できない場合は近隣の公園を代替地に指定しており、義務付けは考えていない。  
**踏切事故から弱者を守る対策を**  
**【問】**遮断機は、健常者の通過を目安に時間設定されており、高齢者や障がい者に配慮されていない。見直すべきだがどうか。また、東武鉄道に人的配置を求めるとともに、当面区として見守り員配置の考えはないか。  
**【鉄道立体】**鉄道事業者と協力し研究する必要があると考える。また、東武鉄道は特殊な事情のある踏切以外、保安要員を配置する考えはないとのことである。区独自の見守り員の配置は、現在のところ考えていない。

**用語解説**  
 ＊ペアレントメンター…発達障がい者の子育て経験のある親であって、その経験を活かし、子どもが発達障がいの診断を受けて間もない親等に対して相談や助言を行う人のこと  
 ＊ピアカウンセリング…同じ悩みや障がいを持つ仲間との相談のり、援助をすること

おける障がい特性に関する理解の充実を図るよう努めていく。

【福祉】②発達障がい児・者の家族支援として、同じ子育て経験を持つ親が、対等な関係で相談に当たることは、実体験を通じた助言や支援が行えることから、有効と考える。親から親への支援は、肢体不自由と知的障がい分野で行っているが、発達障がい分野でもペアレント

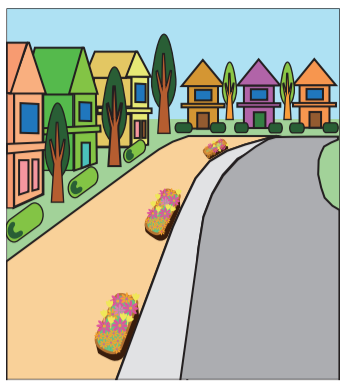
無 派

未来を創るまちづくり

無 会 派 へんみ 圭 二 議員

美しく・安全な魅力あるまちへ

【問】今後、区の魅力を高めるためには、無電柱化を積極的に推進すべきと思うが見解を問う。また、本区は自転車の交通事故が多く、ハード面での整備を推進すべきだ。自転車専用レーンを積極的に整備してはどうか。



【都市建設】区独自の地中化計画を策定する予定はないが、都、交通管理者、区等で構成する「東京都無電柱化地方協議会」で策定する計画に、予定路線を計上し整備している。今後も、財源確保を図りながら、都市計画道路や駅周辺の整備にあわせて積

メンターを養成し、ピアカウンセリング等の相談支援活動が実施できる仕組みを検討していく。



極的に推進していく。

また、自転車走行環境整備は、国の考え方を基本としつつも、都や周辺区の動向を参考にしながら、都市計画道路等の新設や改修等にあわせて検討していく。旧子ども家庭支援センター跡地には地域経済活性化の施設を

【問】綾瀬エリアデザインでは、地域経済への考察が不足している。地域経済活性化の起爆剤となる施設にすべきだが、少なくとも交通広場と同程度の年間2万人の利用者が見込める機能をつくるのが、綾瀬地区の経済に大変重要と考えるがどうか。

【資産管理】新規商業施設等の誘致も十分可能な地域と認識しており、本用地の活用で活性化にも寄与できると考える。なお、親子が安全に憩い、地域コミュニティの中心ともなる公共的空間の確保が、事業者選定の重要なポイントの一つと考える。

第3回定例会での議決結果

区長提出議案

認定したもの

決 算

平成25年度足立区

一般会計歳入歳出決算

平成25年度足立区

国民健康保険特別会計歳入歳出決算

平成25年度足立区

介護保険特別会計歳入歳出決算

平成25年度足立区

後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

各会計決算額は8面に掲載

可決したもの

補正予算

平成26年度足立区一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ73億6千240万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2千681億721万6千円とするもの

平成26年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1千174万6千円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ845億6千805万円とするもの

(以上2議案について、日本共産党足立区議団より反対の立場から討論あり)

平成26年度足立区介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ9億2千207万

6千円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ512億6千255万9千円とするもの

条 例

足立区職員の配偶者同行休業に関する条例

地方公務員法の改正に伴い、配偶者同行休業の制度等を定めるもの

足立区職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

母子及び寡婦福祉法等の改正に伴い規定を整備するもの

足立区反社会的団体の規制に関する条例の一部を改正する条例

反社会的団体の定義等に関する規定を整備するもの

足立区放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定めるもの

足立区附属機関の構成員の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

足立区立児童保育室指定管理者等評価委員会の委員の報酬の額を改定するもの

足立区立児童保育室条例の一部を改正する条例

児童福祉法の改正に伴い、児童保育室の入室に係る対象児童に関する規定を整備するもの

足立区事務手数料条例の一部を改正する条例

薬事法等の一部改正に伴い規定を整備するもの

足立区応急小口資金貸付条例

一部を改正する条例

足立区障がい福祉センター条例の一部を改正する条例

児童福祉法の改正に伴い、規定を整備するもの

足立区旅館業法施行条例の一部を改正する条例

旅館業施設の構造設備の基準に関する規定を整備するもの

足立区不燃建築物促進助成条例

不燃建築物の建築助成に関する規定を整備するもの

子ども・子育て支援法の制定及び児童福祉法の改正に伴い、規定を整備するもの

足立区立認定子ども園条例の一部を改正する条例

子ども・子育て支援法の制定に伴い、規定を整備するもの

足立区立認定子ども園条例の一部を改正する条例

(以上4議案について、日本共産党足立区議団より反対の立場から討論あり)

足立区学校法人の助成に関する条例

学校法人に対する助成に關し、必要な事項を定めるもの

足立区社会教育委員条例の一部を改正する条例

社会教育法の改正に伴い、委員の委嘱の基準を定めるもの

災害備蓄用アルファ米等の購入及び入替えについて

指名競争入札

千住あすま住区センター改築工事請負契約

条件付一般競争入札

千代田線綾瀬車両基地内の横断歩道橋撤去工事に関する施工協定書の変更について

条件付一般競争入札

特別区道路線の認定について

条件付一般競争入札

損害賠償請求に関する和解について

条件付一般競争入札

水衛生設備工事請負契約

条件付一般競争入札

建設共同企業体

条件付一般競争入札

子ども・子育て支援法の制定及び児童福祉法の改正に伴い、規定を整備するもの

足立区立認定子ども園条例の一部を改正する条例

子ども・子育て支援法の制定に伴い、規定を整備するもの

足立区立認定子ども園条例の一部を改正する条例

(以上4議案について、日本共産党足立区議団より反対の立場から討論あり)

足立区学校法人の助成に関する条例

学校法人に対する助成に關し、必要な事項を定めるもの

足立区社会教育委員条例の一部を改正する条例

社会教育法の改正に伴い、委員の委嘱の基準を定めるもの

災害備蓄用アルファ米等の購入及び入替えについて

指名競争入札

千住あすま住区センター改築工事請負契約

条件付一般競争入札

千代田線綾瀬車両基地内の横断歩道橋撤去工事に関する施工協定書の変更について

条件付一般競争入札

特別区道路線の認定について

条件付一般競争入札

損害賠償請求に関する和解について

条件付一般競争入札

水衛生設備工事請負契約

条件付一般競争入札

建設共同企業体

条件付一般競争入札

子ども・子育て支援法の制定及び児童福祉法の改正に伴い、規定を整備するもの

足立区立認定子ども園条例の一部を改正する条例

子ども・子育て支援法の制定に伴い、規定を整備するもの

足立区立認定子ども園条例の一部を改正する条例

(以上4議案について、日本共産党足立区議団より反対の立場から討論あり)

足立区学校法人の助成に関する条例

学校法人に対する助成に關し、必要な事項を定めるもの

足立区社会教育委員条例の一部を改正する条例

社会教育法の改正に伴い、委員の委嘱の基準を定めるもの

災害備蓄用アルファ米等の購入及び入替えについて

指名競争入札

千住あすま住区センター改築工事請負契約

条件付一般競争入札

千代田線綾瀬車両基地内の横断歩道橋撤去工事に関する施工協定書の変更について

条件付一般競争入札

特別区道路線の認定について

条件付一般競争入札

損害賠償請求に関する和解について

条件付一般競争入札

水衛生設備工事請負契約

条件付一般競争入札

建設共同企業体

条件付一般競争入札

報告

和解について(報告第13号・第14号・第19号)

区営住宅の使用料を滞納した相手方に対する住宅使用料請求について和解するもの

損害賠償額の決定

停車中の車両に区が設置した立看板が倒れ、接触したことから、相手方車両に損傷を与えたことに対する損害賠償額(23万1千87円)の決定

議決を得た契約の変更

足立小学校新築電気設備工事

放棄した債権

中小企業融資信用保証料補助金過払返還金

平成25年度決算に基づく足立区の健全化判断比率の報告

実質赤字比率 - 連結実質赤字比率 - 実質公債費比率 △0.5% 将来負担比率 -

※実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合「-」で表示

議決を得た契約の変更

足立小学校新築工事

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員候補者として、浅香孝子氏、小出康夫氏を法務大臣に推薦するため、区長から議会の意見を求められ、異議のないものと答申しました。

議員提出議案

可決したものの見書

地方税財源の拡充に関する意見書

国は、平成26年度税制改正において、地方法人特別税・地方人特別譲与税を廃止しないだけでなく、地方の貴重な自主財源である法人住民税の国税化を新たに導入し、消費税率の10パーセントへの引上げ時には、法人住民税の国税化をさらに進めるとした。こうした措置は、地方税財源の拡充につながらず、地方の自立そのものを妨げ、地方分権の流れに逆行するものである。併せて、来年度からは法人実効税率の引下げが予定されており、地方税財政への影響が強く懸念されている。

地方自治体が責任を持って充実した住民サービスを提供していくためには、需要に見合う財源の確保が不可欠であり、地方財政が抱える巨額の財源不足という問題は、限られた地方税財源の中での財源調整では根本的な解決を図ることはできない。

よって、足立区議会は、国会及び政府に対し、全ての地方自治体の歳入に影響を及ぼさないよう万全の対応を行うとともに、地方税の根本原則をゆがめる地方法人特別税・地方法人特別譲与税と法人住民税の国税化を直ちに撤廃して地方税として還元し、地方が担う権限と責任に見合う地方税財源の拡充という本質的な問題に取り組むよう強く要望する。

(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣あて)

危険ドラッグの根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書

足立区議会は政府に対し、危険ドラッグの根絶に向けた総合的な対策を強化するよう、左記事項の実施を強く求めるものである。

記

1 インターネットを含む国内外の販売・流通等に関する実態調査及び健康被害との因果関係に関する調査研究の推進、人員確保を含めた取締体制の充実を図ること。

2 簡易鑑定技術の開発をはじめ鑑定時間の短縮に向けた研究の推進、指定薬物の認定手続きの簡素化を図ること。

3 薬物乱用や再使用防止のために、危険ドラッグの危険性の啓発強化及び学校等での重点的な薬物教育の実施、相談体制・治療体制の整備充実を図ること。

(内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全)、国家公安委員会委員長あて)

安定的な雇用と公正な処遇を求める意見書

足立区議会は国会及び政府に対し、労働者の安定的な雇用と公正な処遇を可能とするために左記事項について強く求めるものである。

記

1 不当な解雇として裁判で勝訴しても、企業が金銭さえ払えば職場復帰の道が閉ざされてしまう「解雇の金銭解決制度」、解雇しやすい正社員を

増やす懸念のある「限定正社員」制度の普及、長時間労働を誘発するおそれのある「ホワイトカラー・エグゼンプション」の導入など、労働規制の緩和を行わず、雇用の安定を図ること。

2 派遣労働者のより安定した直接雇用への誘導と処遇改善に向けた法改正を行うこと。

3 雇用・労働政策に係る議論は、国際標準であるILOの公労使三者構成主義に則って、労働者代表委員、使用者代表委員、公益委員で構成される労働政策審議会で行われること。

(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、経済再生担当大臣、内閣府特命担当大臣(規制改革)あて)

※掲載した内容は要旨です。※意見書は、関係機関に送付しました。

継続審査としたもの

足立区精神障がい者福祉手当支給条例

精神障害者保健福祉手帳1級該当者に手当を支給するもの

みなさんからの陳情

採択したもの

磁気ループに関する陳情

成年後見制度における成年後見人等に対する報酬助成に関する陳情(同名の陳情3件)

不採択としたもの

区立花畑保育園の存続を求める陳情

陳情の趣旨に沿いかねる

委員会活動表: 委員会名、日程、主な内容(審査、報告、その他)の表

意見の分かれた案件(40件中12件)表: 案件名、会派名(自由民主党、公明党、足立区議会、日本共産党、民主主義)、結果の表

※議案等に対する議員個人の賛否は区議会ホームページに掲載しています。アドレスは http://www.gikai-adachi.jp/honkaigi/gian/gian2014\_3.html

### 足立区議会 自由民主党

討論者  
藤沼 次員  
佐委

平成25年度予算は「確かな明日のために今、さらなる挑戦」と銘打ち、新たな分野への行政改革を推進し、同時に第二次重点プロジェクト推進戦略をさらに発展充実させた予算として編成された。

平成25年度決算では、歳入は政権交代への期待とアベノミクスによる景気回復により財政調整交付金が77億円、特別区民税が6億円の増額となった。

歳出は生活保護費等、扶助費の伸びが鈍化し、義務的経費が約6億円の減額となる一方、投資的経費は建築資材や人件費の高騰等により、約85億円の増額となった。経常収支比率は81%、実質収支額76億円余と大きく改善された。これら財政の健全化は、景気の影響が一番の要因だが、手堅い財政運営と納税者の増に寄与した長年の街づく

### 足立区議会 公明党

討論者  
前野 和員  
野委

厳しい財政環境の中、区は、第二次重点プロジェクト推進戦略の4つの柱の施策を発展・充実させ、ボトルネック的課題の解決を目指してきた。

「子ども」では、学びの機会を充実するためのあだち小学生基礎学習教室の推進、幼保小連携活動による小学校教育への滑らかな移行、全額公費負担によるヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種を開始した。

「くらし」では、特別養護老人ホーム等の整備助成や介護保険基盤整備の推進、ごみ屋敷等を改善する条例の施行や対策の推進、放置自転車対策の強化、医療費適正化、ジェネリック医薬品の普及促進に努めた。

「まちづくり」では、鉄道立体化の促進事業や建築物耐震化、老朽家屋対策、緑の普及啓発事業を促進した。

りの努力が実を結んだ結果と高く評価する。一方、気掛かりな事項が2点あった。

1点目は、専門定型業務の外部化である。今後の外部化に当たっては、戸籍業務での国からの指摘を踏まえ、法務リスクと庁内体制の一層の整備に努めるとともに、当初のタイムスケジュールにとらわれることなく、慎重を期して対応するよう指摘する。

2点目は、法人住民税の国税化である。財調財源に依存する当区にとって、国税化は財政運営に大きな打撃となる。地方自治体が責任を持って住民サービスを提供していくためには、需要に見合う財源の確保が不可欠であり、法人住民税の国税化は地方税の原則を歪めるもので見過ごせるものではない。区長には23区一体で、都と力を合わせ、国に働き掛けるよう強く要望する。

最後に、次年度の予算編成に当たっては、本決算特別委員会において我が党委員の指摘した様々な提案及び要望事項を尊重し、その実現に努力されるよう強く要望する。

「経営改革」では、区の魅力を創り出すシティブロモーション事業やコンビニエンスストアで各種証明書が取得できるサービスを開始した。

いずれも我が党の要望が数多く反映され、どれも区民生活にとって必要な事業となった。とりわけ基金を活用した公共施設の更新や防災・減災への取り組みは、高く評価するものである。

しかしながら、戸籍業務の外部委託では、窓口業務のあり方を東京労働局から指摘され、是正を余儀なくされた。真摯に受け止め、速やかな改善を強く要望する。課題の完全な解決があつて初めて次のステップに取り組みべきであり、こうした指摘を二度と受けたくないよう厳格な取り組みを求める。

最後に、我が党の各委員が指摘し、提案・要望した事項は、今後の予算執行や平成27年度予算に反映させ、区民目線に立った区政運営を心掛け、その実現に向けて、まい進されるよう強く求める。

区分	足立区議会 自由民主党	足立区議会 公明党	日本共産党 足立区議団	足立区議会 民主党	無党派
一般会計	認定	認定	不認定	認定	認定
国民健康保険特別会計	認定	認定	不認定	認定	認定
介護保険特別会計	認定	認定	不認定	認定	認定
後期高齢者医療特別会計	認定	認定	認定	認定	認定

\*無党派は意見表明のみとなります。

## 決算特別 委員会の 討論(要旨)

### 日本共産党 足立区議団

討論者  
鈴木 けんいち員  
鈴木 委

25年度決算は、予算編成方針で「数年で基金は底をつく状況となっている」としていたが、歳入歳出とも過去最大になった。財政調整交付金は905億円と推計されていたが974億円となり、「再度減収に転じる」とされた区民税も増収となった。

積立金は1千65億円と過去最高規模になり、経常収支比率は大幅に下がり、区も「黄色が薄くなった」と認めた。

区は、区民生活を支えるお金はあるのに、事実と異なる財政危機論とともに人口減少をことさらに強調し、子どもと地域を犠牲に学校統廃合を強行した姿勢は認められない。また、戸籍窓口業務の外部委託は、半年あまりのうちに多くの法令違反とサービス低下、コスト増の実態が明らかになり、7月には偽装請負の指摘を受け、窓口の大半

を区職員に戻すことになった。国保・介護の外部委託はただちに中止すべきである。子ども施策では、認可保育園増設は1カ所のみ、待機児が36名増える事態となった。教育では、科学的根拠のない午睡の廃止、保育指針にも反する早教の導入を進め、子どもたちの健やかな成長を阻害している。学校開放有料化に続き、施設使用料見直しと駐車場有料化で、絆を切り裂いている。

そして、区は放射能測定器の貸出しも、給食食材の測定検査もまったく行おうとしない異常な姿勢である。

国民健康保険は、保険料が一人あたり平均で3千188円の値上げとなり、23年度、24年度と比べても大幅な値上げである。

介護保険は、制度が大幅に改悪され、サービス切り捨てと負担増が待っており、認めるわけにはいかない。

### 足立区議会 民主党

討論者  
鈴木 あきら員  
鈴木 委

政府は9月の月例経済報告で、基調判断を4カ月ぶりに下方修正した。今後の見通しも不確定要素が多く、財政基盤の確立は急務である。

そのような中で平成25年度予算は、区のボトルネック的課題の解決を目指し、第二次重点プロジェクト推進戦略に関連する様々な事業が展開された。

平成25年度一般会計決算では、経常収支比率は70%、80%の範囲を5年連続で上回ったものの、一定の改善を図った。

財源確保に向けた基金の積み増しや特別区債残高の改善、財政健全化法に基づく全体的な指標で基準値を下回ったこと等は、一定の評価ができるものである。

しかし、当区の財政運営は、都区財政調整交付金に依存せざるを得ず、歳出におい

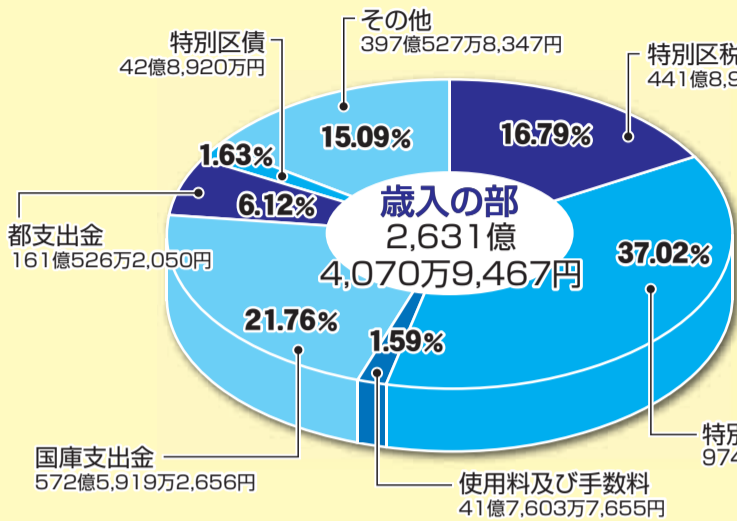
### 決算特別委員会委員(21名)

- 委員長 鈴木 けんいち
- 副委員長 鈴木 けんいち
- 委員 鈴木 けんいち
- 委員 鈴木 けんいち
- 委員 鈴木 けんいち
- 委員 鈴木 けんいち
- 委員 鈴木 けんいち
- 委員 鈴木 けんいち
- 委員 鈴木 けんいち
- 委員 鈴木 けんいち
- 委員 鈴木 けんいち
- 委員 鈴木 けんいち
- 委員 鈴木 けんいち
- 委員 鈴木 けんいち
- 委員 鈴木 けんいち
- 委員 鈴木 けんいち
- 委員 鈴木 けんいち
- 委員 鈴木 けんいち
- 委員 鈴木 けんいち
- 委員 鈴木 けんいち

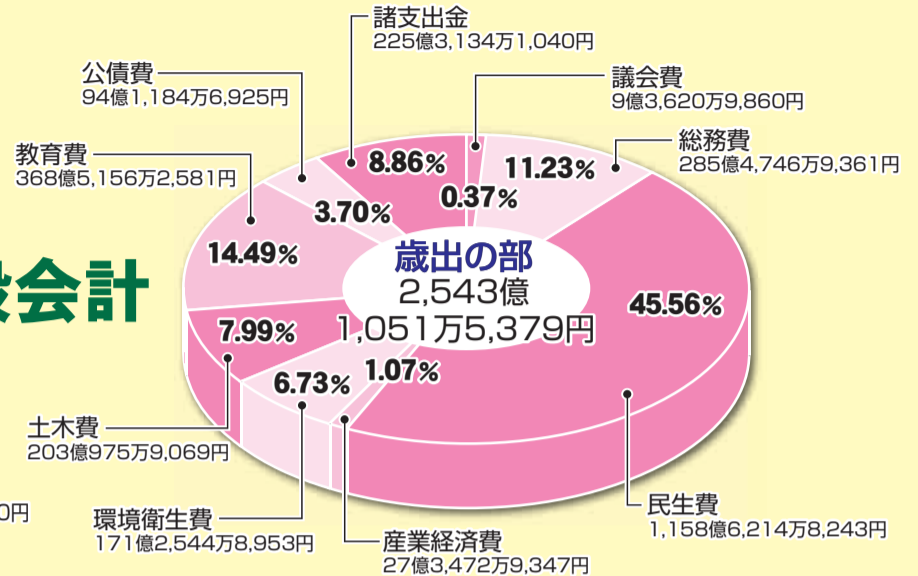


# 平成25年度各会計決算

区分		25年度	24年度	増加額	増加率
一般会計	歳入総額	263,140,709千円	248,871,272千円	14,269,437千円	5.7%
	歳出総額	254,310,515千円	242,142,872千円	12,167,643千円	5.0%
国民健康保険特別会計	歳入総額	85,040,286千円	84,817,256千円	223,030千円	0.3%
	歳出総額	83,217,883千円	82,830,732千円	387,151千円	0.5%
介護保険特別会計	歳入総額	45,654,925千円	42,850,235千円	2,804,690千円	6.5%
	歳出総額	44,742,702千円	42,065,864千円	2,676,838千円	6.4%
後期高齢者医療特別会計	歳入総額	11,815,397千円	11,592,664千円	222,733千円	1.9%
	歳出総額	11,676,095千円	11,367,875千円	308,220千円	2.7%



## 一般会計



一般会計 歳入の主なもの

特別区税	区民のみなさんから区へ納められた税金。特別区民税、軽自動車税など。
特別区交付金	都が課税する固定資産税などを原資にし、都と23区間で財源の均衡調整を図る交付金。
国庫支出金	特定の事業や使いみちのために、国や都から交付される補助金など。
都支出金	

一般会計 歳出の主なもの

総務費	災害対策や選挙、広報、町会・自治会活動支援に関する経費。
民生費	子育て支援、高齢者施策、生活保護などの福祉に関する経費。
土木費	道路や公園の整備に関する経費。
教育費	学力向上施策や校舎整備、幼稚園補助、生涯学習に関する経費。

予算の執行が適正かつ効率的に行われたかどうか、また、施

### 審査経過

健全化判断比率は、基準に対し特に問題となることはありませんでした。

### 審査経過

普通会計決算では、実質収支は約76億4千300万円、前年度に比べ約17億4千100万円の増となり、経常収支比率は81.6%で、前年度に比べ5.5ポイントの減となり、財政硬直化の黄色信号は薄くなりました。

平成25年度予算が執行された結果、一般会計は、歳入で2千631億4千70万9千467円、歳出で2千543億1千51万5千379円となり、前年度比では、歳入は5.7%の増、歳出は5.0%の増となりました。

平成25年度予算が執行された結果、一般会計は、歳入で2千631億4千70万9千467円、歳出で2千543億1千51万5千379円となり、前年度比では、歳入は5.7%の増、歳出は5.0%の増となりました。

「経営改革」の4分野を進展・充実させるため、区民や地域のちからを結集し、将来を見据え、明日に向かって着実な歩みを実感できる予算として編成されました。こうした方針に基づき、

「介護保険特別会計」歳入歳出決算については、挙手多数により認定すべきものと決し、「後期高齢者医療特別会計」歳入歳出決算については、全会一致で認定すべきものと決し、審査を終了しました。

10月10日に質疑を終了し、各会派の討論及び無会派の意見表明の後、採決しました。

その結果、平成25年度「一般会計」「国民健康保険特別会計」「介護保険特別会計」歳入歳出決算については、挙手多数により認定すべきものと決し、「後期高齢者医療特別会計」歳入歳出決算については、全会一致で認定すべきものと決し、審査を終了しました。

10月10日に質疑を終了し、各会派の討論及び無会派の意見表明の後、採決しました。

その結果、平成25年度「一般会計」「国民健康保険特別会計」「介護保険特別会計」歳入歳出決算については、挙手多数により認定すべきものと決し、「後期高齢者医療特別会計」歳入歳出決算については、全会一致で認定すべきものと決し、審査を終了しました。

10月10日に質疑を終了し、各会派の討論及び無会派の意見表明の後、採決しました。

その結果、平成25年度「一般会計」「国民健康保険特別会計」「介護保険特別会計」歳入歳出決算については、挙手多数により認定すべきものと決し、「後期高齢者医療特別会計」歳入歳出決算については、全会一致で認定すべきものと決し、審査を終了しました。

10月10日に質疑を終了し、各会派の討論及び無会派の意見表明の後、採決しました。

## 平成25年度各会計決算 決算特別委員会での審査と本会議での議決

### ～区議会からのお知らせ～

#### 本会議録の閲覧

本紙に掲載いたしました、代表・一般質問や、議案の内容は概要です。詳細については12月中旬以降、区議会事務局・区政情報課・区立図書館で本会議録をご覧ください。区議会ホームページにも掲載いたします。

#### 区議会インターネット中継(録画)

足立区議会では、インターネットで本会議の映像(録画)をご覧いただけます。アドレス

<http://www.gikai-adachi.jp/yousu/index.html>

#### 会議録検索システムがモバイル対応に

従来のシステムに加え、タブレットやスマートフォンをご利用の方向けの検索システムを公開しました。

### 区議会ダイヤル

足立区議会 自由民主党	☎ 03-3880-5760
足立区議会 公明党	☎ 03-3880-5765
日本共産党 足立区議団	☎ 03-3880-5770
足立区議会 民主党	☎ 03-3880-5775
無会派(浅古)	☎ 03-3880-6559
無会派(市川)	☎ 03-3880-6583
無会派(へんみ)	☎ 03-3880-5780

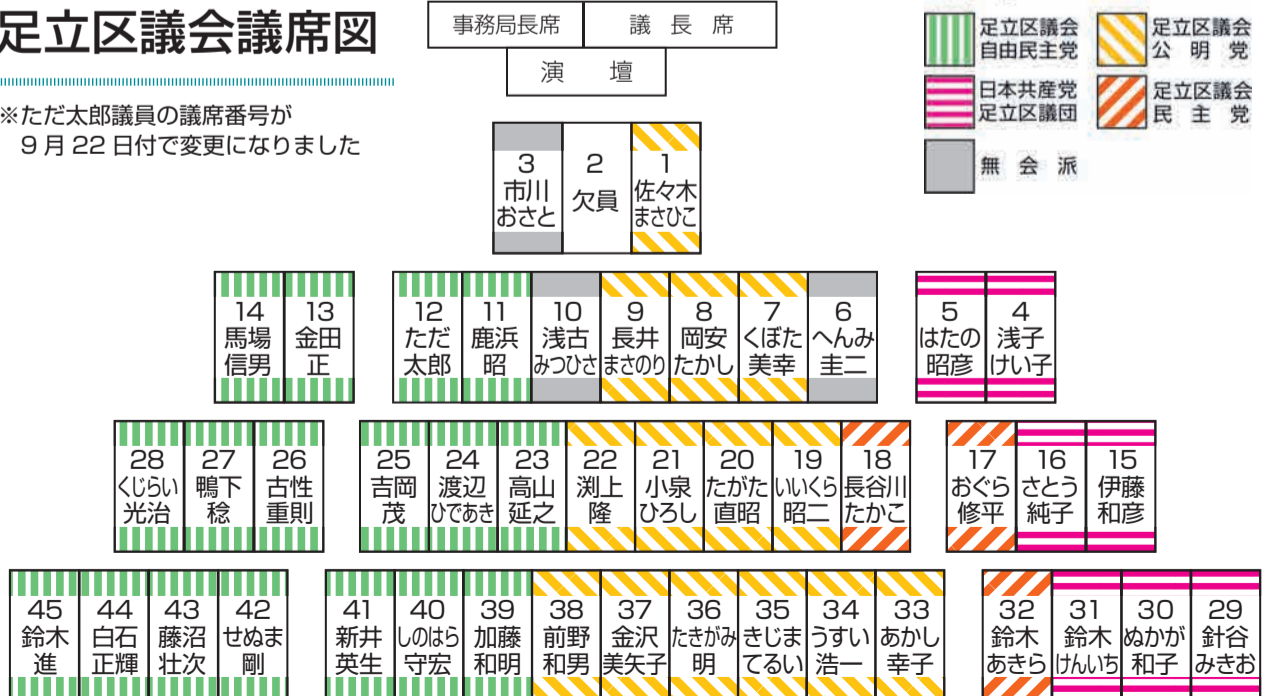
足立区議会事務局

☎ 03-3880-5996

<http://www.gikai-adachi.jp>

## 足立区議会議席図

※ただ太郎議員の議席番号が9月22日付で変更になりました



### ★凡例

足立区議会 自由民主党	足立区議会 公明党
日本共産党 足立区議団	足立区議会 民主党
無会派	